

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年12月6日 (2012.12.6)

【公開番号】特開2010-200311 (P2010-200311A)

【公開日】平成22年9月9日 (2010.9.9)

【年通号数】公開・登録公報2010-036

【出願番号】特願2010-8382 (P2010-8382)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/02 (2009.01)

H 0 4 W 28/18 (2009.01)

H 0 4 W 24/10 (2009.01)

H 0 4 W 52/42 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 72/12 (2009.01)

【 F I 】

H 0 4 Q 7/00 2 0 1

H 0 4 Q 7/00 2 8 2

H 0 4 Q 7/00 2 4 5

H 0 4 Q 7/00 4 4 9

H 0 4 Q 7/00 5 4 8

H 0 4 Q 7/00 5 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成24年10月23日 (2012.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

直交周波数分割多元接続ネットワークにおいてリソースブロックを割り当てる方法であって、該直交周波数分割多元接続ネットワークは、基地局のセットと、セル内の各該基地局によってサービスを提供される移動局のセットとを含み、各前記セルはセクタのセットに分割され、各前記セルは中央ゾーン、エッジゾーン、及びコーナーゾーンを含み、該方法は、

前記セクタからクラスタを形成するステップであって、各該クラスタは異なる隣接セルからの近接セクタを含むものと、

各前記クラスタに関するチャネル状態情報集合を、該クラスタに関連付けられる前記基地局のうちの 1 つにおいて取得するステップと、

各前記クラスタ内の各前記移動局に対して、該移動局が、前記セルの前記中央ゾーン、前記エッジゾーン、又は前記コーナーゾーン内に存在するか否かに従ってリソースを割り当てるステップであって、該割り当てに前記クラスタに関する前記チャネル状態情報を使用するものと、

を含み、

前記割り当てるステップは、比例公平スケジューリングを使用し、前記移動局に対して同様の送信データ速度を提供し、

移動局  $u$  に対する前記比例公平スケジューリングは  $r_u = m r_u / R_u$  であり、ここで、 $m$  は現在のフレームにおける前記移動局  $u$  に割り当てられるリソースブロックの数であ

り、 $r_u$  は前記チャネル状態情報に従って使用されるデータ速度であり、 $R_u$  は前のフレームの前記データ速度である、方法。

【請求項 2】

各前記セルは 3 つのクラスタを有し、該クラスタは 1 つ、2 つ、又は 3 つのセクタを有することができる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

クラスタヘッドが各前記クラスタに割り当てられ、該クラスタヘッドは、該クラスタ内の前記セクタに関連付けられる前記基地局のうちの 1 つにおいて動作する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記クラスタは、前記ネットワーク内の前記基地局の数が増加すると必ず形成される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

各前記移動局は前記基地局からのダウンリンク上の前記チャネル状態情報を検知し、該チャネル状態情報をアップリンク上で前記関連付けられる基地局に報告し、前記クラスタ内の前記基地局は前記チャネル状態情報をバックホールネットワークを介して前記クラスタヘッドに送信する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

各前記クラスタ内の前記セクタに関するフレームは、関連付けられる 3 次元リソースブロックを有するフレームアレイを形成し、各前記リソースは三つ組 ( $f$ ,  $t$ ,  $s$ ) によってインデックス付けされ、ここで、 $f$  はサブキャリアインデックスを表し、 $t$  はシンボルインデックスを表し、 $s$  はセクタインデックスを表す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記割り当てるステップは、部分的リソースブロック再利用を使用し、セル内干渉を低減する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記移動局においてダイバーシティセットを維持し、該移動局に関して前記ゾーンを求めることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

第 1 の電力が前記中央ゾーン内の移動局に対して割り当てられ、第 2 の電力が前記エッジゾーン及び前記コーナーゾーン内の前記移動局に対して割り当てられ、前記第 2 の電力は前記第 1 の電力よりも大きい、請求項 1 に記載の方法。